

～本線工事の概要がホームページに掲載されています～

本線工事説明会について

2月22日～25日に本線工事の個別窓口を設置し、ご来場いただいた方には疑問点等をご説明いたしました。当日に使用した資料は、街路課ホームページに掲載されていますので、ご覧ください。なお、ご質問がありましたら、街路課までお問合せください。

<街路課ホームページ>



交通規制について

市道若林駅役場線（若林1号踏切）において、旧線部（これまでの線路の部分）の歩道及び水路の整備を行います。このため、下記期間において、片側交互通行規制（歩行者通行可）を行います。踏切近接により渋滞が発生する可能性があるため、迂回をご検討ください。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

場所：市道若林駅役場線（若林1号踏切）
※若林駅直近の踏切周辺

期間：5月上旬～6月上旬（予定）
（日・祝日を除く）

時間：午前9時～午後5時

内容：片側交互通行規制（歩行者通行可）

業者名：(有)シビル



事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事

令和3年7月着手

⑤ 仮線への切替

令和5年3月切替

⑥ 高架本体工事開始

令和5年4月

⑦ 高架本体への切替

⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了

令和9年3月（予定）

旧線撤去工事について

右記の業者が、旧線設備の撤去を行っています。施工上交通規制や夜間施工となる場合もあります。沿線住民の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

<軌道撤去工事>

業者名：矢作建設工業(株)
期間：6月下旬まで

<電気通信施設撤去工事>

業者名：名鉄EIエンジニア(株)
期間：8月下旬まで

ちょっと途中下車

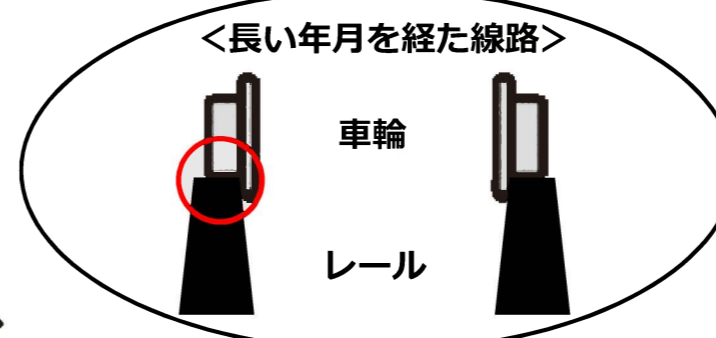
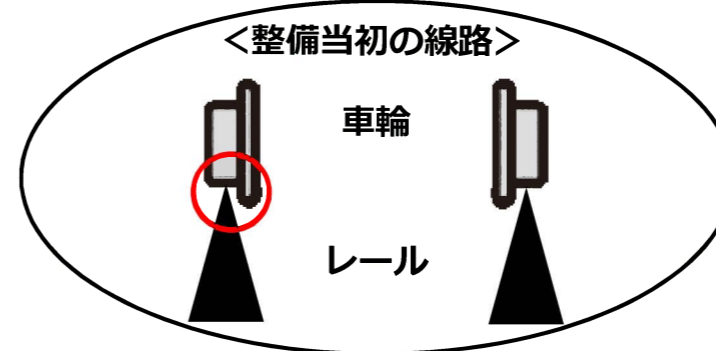
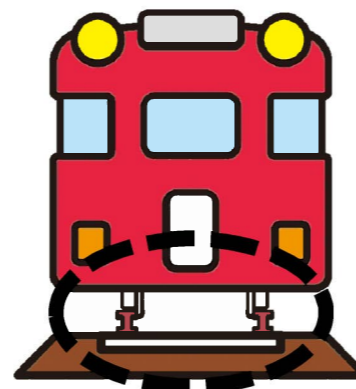
～鉄道の音が静かになった？～

仮線切替後に、地域のみなさんから「鉄道の音が静かになったような気がする。」といった声をよく聞きます。確かに、現場を歩いていると、旧線を走っていた頃よりも、音が小さいように感じます。

名鉄の方にお話を聞くと、三河線のように1920年（大正9年）に開業し、100年以上走り続けた路線では、レールを長い間使用することで車輪との摩擦によりレールの上部の「山の部分」がだんだんと平らになってしまい、列車の車輪とレールとの接地面が大きくなり音が大きくなってきます。

今回の仮線切替により、これまで長い間使用したレールから新しいレールとなったことで、レールの上部が山のようになっており、列車の車輪とレールとの接地面が滑らかで、列車の円滑な走行が実現しました。加えてレールの継ぎ目も少なくなったことで、列車走行時の音が低減されているとのことでした。他にも、仮線の路盤整備を行ったことや枕木が木製からコンクリート製になったことなどいろいろな要因があるようです。

みなさんは、仮線切替後、三河線をご利用されましたでしょうか。ご利用の際には、乗り心地についても比べてみてはいかがでしょうか。仮線での運行期間は意外と短いかもしれません。



※図はイメージです。分かりやすいように表現しています。

問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp